

東電福島第一原発事故から15年。事故の収束はおろか、誰も事故の責任を取らず、被害者の望む賠償も行われない。汚染水の海洋投棄や汚染土の再利用によって放射性廃棄物が再拡散され、放射線防護の責任が個人に転嫁されている。そして各地の原発の再稼働が進められている。

事故直後、私たちが今度こそと期待した社会は、どこに行ってしまったのだろうか。原発が社会に何をもたらしたのか、どうしたら脱却できるのか、福島原発の歴史と今を学び、一緒に考えてみませんか。

【報告】

報告1：「原発誘致と双葉地方原発反対運動の歴史」

石丸 小四郎 さん（双葉地方原発反対同盟代表）

報告2：「福島第一原発事故の現状と植民地化された復興」

佐藤 和良（脱原発福島ネットワーク世話人）

報告3：「『ふるさととは赤』『土地に呼ばれる』の心」（仮題）

三原 由起子 さん（歌人）

【グループトーク】

参加者みんなで「事故から15年を語る」

2026

3/28（土）

13:30～16:15

いわき市文化センター（予定）

資料代 500円

主催：脱原発福島ネットワーク

問合せ：080-6455-6953（武藤）



東電福島第一原発事故から15年 歴史と今を考える集い